



編集・発行
飯能消防団広報委員会

かわらばん



第46回 奥武蔵駅伝初出場 '97.1.26

“市民とともに走って行きます”

緊急特集

「自分のところは自分で守ろう」
—こんなところがあぶね—ぞ!!—

- ◎防災センターへ行こう!!
- ◎消防団ニュース、活性化委員会報告 etc.

平成9年度

第

4号



自分のとまごころは

自分で守るうう!!

飯能市の火災現状

現在までの火災発生件数は

*平成六年 三十二件

*平成七年 五十三件

*平成八年 六十三件

*平成九年 三十七件(五月現在)

と年々増加の傾向にあり、

その内訳を見ると、放火または放火の疑いの割合が多く、

出火原因の第一位となっております。

*平成六年 十四件

*平成七年 十五件

*平成八年 二十三件

*平成九年 十四件(五月現在)

となっております。また、放火場

所は件数の六割から八割が、

仲町、柳町、八幡町、新町、

南町、東町など市街地に集中

しています。

こんなところが
あぶねーぞ!



放火火災は、年々増加傾向

にあり、火災原因のトップを

占めています。放火は、生活

の中でうっ屈した不満を、無

差別な放火と言う行為で発散

されているケースが多く、動

機としては、厭世(えんせい)、精神異常、

腹いせ、家庭不和などとなっ

ています。

放火された場所についてみ

ると、建物内部や外壁、軒下、

門、塀、車両など、その多く

が建物やその周囲の物件に放

火されています。一般に部外

者が自由に出入りできるとこ

ろとか、人目に付かないとこ

ろなど、被害者自らが放火さ

れやすい環境を造り上げて、

放火行為を容易にしている状

況が多く見受けられます。

放火火災を防止するには、

① 死角になりやすい廊下、階

段室、洗面所等の可燃物の

整理整頓又は除去(家の周

りに燃える物を置かない)

② 物置、空室等の錠錠及び人

が入れない環境づくり

③ ゴミ出しを、収集日の朝に

出すように心掛けるなど、

対策を行なう事が必要です。

消防団 パトロール展開ノ

放火の場合、連続放火の危険

性もあり、その為に私たち消

防団も、歳末警戒に引き続き

二月、三月及び七月、八月に

特別夜警を行ないました。



防災センターへ行こう

こんなときあなたは どうする？

皆さんによく知られている防災センターですが、一般の方が体験出来るいろいろな設備があるという事を御存知ですか。いざ災害に会った時のために防災体験してみませんか。

● 消火器コーナー

左の写真は、防災センター内にある体験機の一つで、画面に映る炎を、消火器で狙い消火の体験ができます。



● 煙体験コーナー

日頃、私達は火の恐ろしさや、火が出た際の対処に對し迫り来る煙への対処は殆ど知られていないようです。



万が一の時の為に一度、シュミレーションしてみてもいい。

消火器の能力は、炎が天井に届かない高さまでなので早期発見。初期消火が大切になってきます。

設置場所としては台所、出入り口などが適当で、年一回は点検を実施してください。



煙体験コーナーは、細長い室内に障害ドアなどを設け実際に煙からの避難を自分自身で体験することができます。

煙への対処方法を会得してみてもいいかがですか。



● 起震機室

今、災害といつてまず思い浮かべるのは、やはり地震ではないでしょうか。起震機室は、「震度？」までを揺れと映像で体感できます。

普段、学校などでおこなわれる防災訓練がこんな場面でどれだけ生かせるかぜひ実体験してみてください。

臨場感のあるこのコーナーで、楽しみながらも各自が災害発生

時に対処する心構えを学んでみてはいかがですか。



● 展望室(最上階)

防災センター最上階に地上二十七メートルの展望室があります。三百六十度のガラス張り、飯能市街、日高市の一部、関東平野が一望でき、一般の方でも受付をすれば、規定時間内(九時~十六時)で見学できます。

まだ、防災センターへ来たことのない方、見晴らしのよい展望室へぜひ足を踏み入れてみてはいかが。



12月1日(月)午前8時より防災センターで飯能消防団特別点検が行われます。ぜひご来場ください。

消防団 結成五十年

飯能消防団

団長 金子堅造

飯能消防団は昭和二十二年八月に結成され、本年をもって五十年を迎えます。

「自分達の地域は自分達で守る」という郷土を愛する気持ちに基づいて消防署と協力し活動をしてまいりました。

その間、多くの諸先輩の努力により組織的にも技術的にも県下で優秀な消防団として評価されています。

今、五十年の節目を迎えて伝統を保ちながら従来のイメージから脱皮し活性化に真剣に取り組んでいます。

近代設備の整った詰め所が大河原地区に完成。続いて、東吾野地区、市街地(原町・一丁目地区内)にも建設が決定しています。また、活性化

委員会を設置して、親睦パーティ、ファッション感覚の消防衣服。広報活動など、魅力ある消防団創りをしています。

飯能消防団は二十一世紀に向かつて躍進してまいります。

消防団に入つて

第十分団 浅見 洋

入団して六ヶ月が過ぎ、先輩方の指導で消防団活動に少しずつ慣れてきました。

吾野地区で行われた防災訓練に参加して、火災などの身近な災害に対する意識が変わりました。何かが起きたら

真つ先に駆けつける立場になつてから、テレビ、新聞などで災害の様子が報じられるたびに、身の引き締まる思いがし、責任の重さを感じます。

まだまだ経験不足ですが、使命感を持って災害のない住みよい地域になるように努力したいと思います。

消防団・活性化委員会・報告!!

◎ねるとん◎

独身団員に、吉報が!

待望の「ねるとんパーティ」が企画され、記念すべき第一回が、去る八月に開催されました。当初の募集人員をはるかに超える参加が「真夏の夜の夢」のキャッチコピーのもと、楽しいひとときが過ごされました。その結果、四組のカップルが誕生しました。その後の経過は……?

第二回の開催も予定していますので、多数の参加をお待ちしています。

◎作業服◎

火災現場や訓練時に着用しているのが作業服です。

作業服活性化委員会では、色・デザイン・機能性を考慮し(インターネットで全国のデザイン検索するなど)カッコ良さ重視で消防団のイメージを一新する作業服を審議中です。ロゴ入りTシャツやヘルメットに代わる現場用ヘルメットも同時に試行中です。

イメージアップした消防団にご期待ください。

◎50周年◎



飯能消防団が誕生して今年で五十年になりました。来年度記念式典を開催し記念誌を発行します。

記念式典は関係者など多くの方に集まっていただけという現在、検討を重ねています。記念誌は、飯能消防団を育て、伝統を築いてきた先輩諸氏に感謝をこめて今までの歴史をしるします。

現在、資料を収集しています。心あたりの方は近くの消防団員まで御一報ください。

◎編集後記◎世の中に「真心」で動く仕事があつてもいいじゃないですか!消防団は、そんな仕事です。真夜中のサイレンで目が覚め、現場の助っ人に早変わり。焼け跡の片隅でおもちゃが泣いている。この情景をなくしたい。

題字は吉田行男様にご協力いただきました。

分団拠点化スタート



本年三月、三分団内。岩根橋のたもとに分団の拠点となる建物が完成しました。一階は車庫(積載車は十一月に配備)二階には会議室を備えたこの建物は、飯能消防団拠点化設備第一号として建てられました。積載車配備後は、四部器具庫(本郷)は廃止される予定です。

